



# やけどに注意したい季節があります

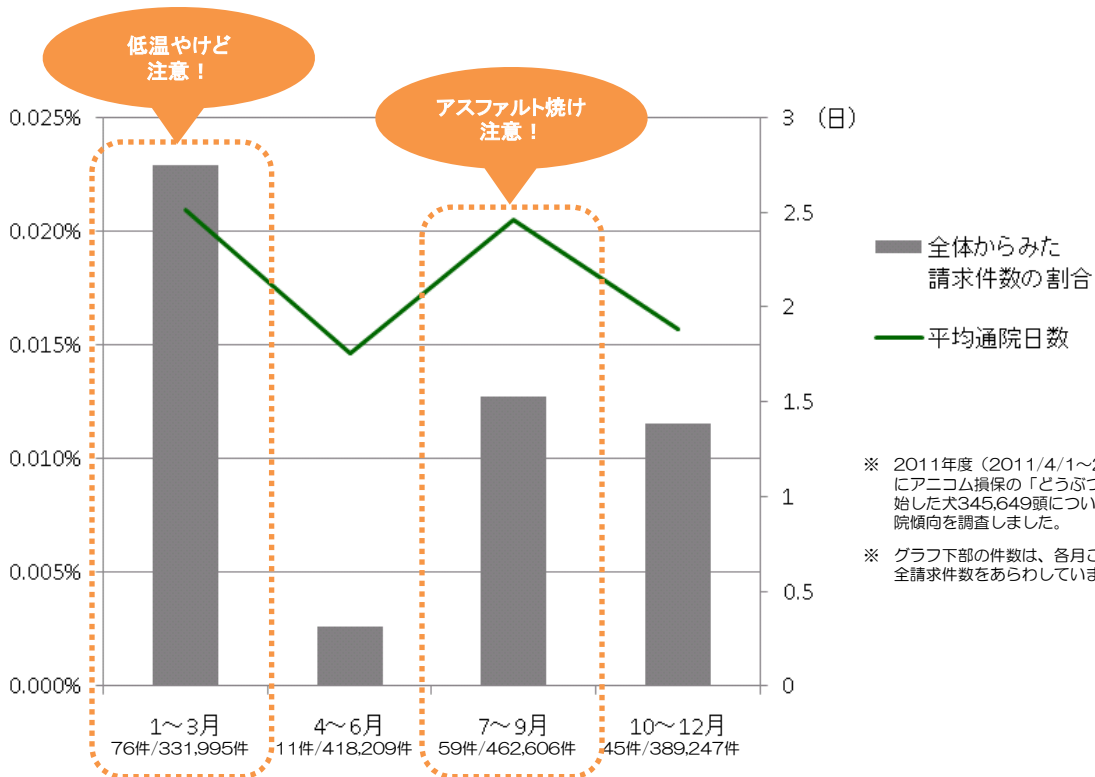
冬場は暖房器具などによるやけどが多いといわれますが、本当でしょうか？  
今回は、ワンちゃんのやけどの季節ごとの発生状況を調査してみました。

## ■季節ごとにみるワンちゃんのやけどの通院傾向

請求件数全体に対するやけどでの請求件数の割合を調べたところ、下のグラフのように1～3月で高い割合を示しました。さらに平均の通院日数を調べたところ、1～3月と7～9月で通院日数が長くなる傾向があり、これらの季節では重症化・長期化する症例が多いことが考えられます。

1～3月はストーブや焚火などによる重度のやけどの他、こたつやホットカーペットなどによる低温やけども考えられます。低温やけどは、比較的低温のものに長時間皮膚を接触させて起こるやけどの一種です。起こる温度は44～60℃程度で、44℃の場合は6時間程度、46℃で30分～1時間、50℃の物では3分程度の接触で皮膚が損傷を受けてしまいます。高齢や病気の子で動きが少なかつたりすると、知らず知らずのうちに皮膚が損傷を受けてしまう可能性があるため、同じ姿勢を続けていないか注意してあげましょう。

一方で7～9月で多いものはアスファルトによる肉球のやけどが考えられます。実際に外気温が30℃程にまで上がる日だと、時間によってはアスファルトは60℃くらいにまでなってしまう（石丸和宏ら、2007）。夏は日中のお散歩を避けるとともに、なるべく芝生や土の上を歩かせてあげましょう。



やけどに注意が必要なのは、1～3月と7～9月！

